

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催
文部科学省 後援

令和8年度 第102回 簿記実務検定試験 第2級

(令和8年6月28日実施)

時間 10時50分から12時20分 (制限時間90分)

注 意 事 項

- 1 監督者の指示があるまで、問題を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は1ページから8ページまであります。
- 3 問題用紙の落丁や印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督者の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には応じません。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 途中退室は原則できません。
- 6 試験終了後、問題用紙も回収します。

受 験 番 号

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	普 通 預 金	売 掛 金	電 子 記 録 債 権
有 価 証 券	買 掛 金	電 子 記 録 債 務	売	上
有 価 証 券 売 却 益	有 価 証 券 売 却 損	現 金 過 不 足		

- a. 徳島商店は、現金の実際有高と帳簿残高を照合したところ、実際有高は ¥90,000 であり、帳簿残高 ¥89,000 より ¥1,000 多かった。よって、帳簿残高を修正して、その原因を調査することにした。
- b. 売買目的で保有している鳥取商事株式会社の株式6,500株（/株の帳簿価額 ¥210）を/株につき ¥240 で売却し、代金は当店の普通預金口座に振り込まれた。
- c. 愛媛商店は、高知商店に対する買掛金 ¥170,000 について、電子債権記録機関に発生記録の請求をおこない、電子記録債務とした。

2

次の各問いに答えなさい。

- (1) 下記の建物台帳から、次の a と b に答えなさい。ただし、決算日は年/回 /2月3/日である。

- a. (ア) にあてはまる語句を語群から選びなさい。

語 群

1. 定額法 2. 定率法 3. 直接法 4. 間接法

- b. (イ) にあてはまる金額を記入しなさい。

建 物 台 帳							
所 在 地			山梨県甲府市上今井町300番地			耐用年数	39 年
用 途			店 舗			償却方法	(ア)
登録番号			1701			残存価額	¥5,023,200
日 付			摘 要	取得価額	減価償却費	残 高	備 考
年	月	日					
H18	1	1	買入れ	50,232,000		50,232,000	
	12	31	減価償却 (1期目)		1,159,200	49,072,800	
H19	12	31	減価償却 (2期目)		1,159,200	47,913,600	
R7	12	31	減価償却 (20期目)		1,159,200	(イ)	

(2) 次の文を読み、下記の a と b に答えなさい。

決算にあたり、一会計期間に生じた収益の総額から費用の総額を差し引いて、当期純利益または当期純損失を計算する方法を□□□□ という。

a. 下線部□□□□を英語表記した場合にあてはまる語を選び、その番号を記入しなさい。

1. Credit 2. Liabilities 3. Revenues

b. □□□□にあてはまる語を選び、その番号を記入しなさい。

1. 財産法 2. 損益法 3. 3分法

(3) 長野商店（決算年／回 〃2月3／日）における次の勘定の（①）と（②）に入る金額を答えなさい。ただし、広告料は毎年同じ金額を5月末日と〃〃月末日に翌月以降の6か月分を支払っている。

前 払 広 告 料			
1/ 1	前 期 繰 越	(①)	1/ 1 広 告 料 37,500
12/31	広 告 料	()	12/31 次 期 繰 越 ()
		()	()

広 告 料			
1/ 1	前 払 広 告 料	37,500	12/31 () 37,500
5/31	現 金	()	〃 損 益 (②)
11/30	現 金	()	〃 ()
		()	()

(4) 支店会計が独立している岐阜商店（個人企業 決算年／回 12月31日）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- ア. 本支店合併後の通信費
- イ. 本支店合併後の現金
- ウ. 本支店合併後の受取手数料
- エ. 本支店合併後の売上原価

資 料

i 12月30日における元帳勘定残高（一部）

	本 店	支 店
現 金	¥ 74,000	¥ 38,000
当 座 預 金	37,000	—
繰 越 商 品	150,000	60,000
受取手数料	120,000	7,000
仕 入	895,000	506,000
通 信 費	93,000	40,000
支 店	258,000（借方）	—
本 店	—	216,000（貸方）

ii 12月31日における本支店の取引

- ① 本店の当座預金口座に、支店の手数料 ¥5,000 が入金された。支店は、その報告を受けた。
- ② 本店は、通信費 ¥20,000（うち、支店負担分 ¥8,000）を現金で支払った。支店は、その報告を受けた。
- ③ 本店は、支店が12月29日に送付していた商品 ¥42,000（原価）を受け取った。

iii 決算整理事項（一部）

期末商品棚卸高	本店	¥146,000（資料ii③の商品も含まれている）
	支店	¥ 71,000

3

3 伝票制を採用している福岡商店の下記の取引と伝票から、次の(1)と(2)に答えなさい。

ただし、i 下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。

ii 仕入・売上の各取引について、代金の決済方法にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。

(1) 6月/日の略式の伝票を集計したさいの、仕訳集計表を作成しなさい。

(2) 仕訳集計表から、売掛金元帳に転記後の得意先長崎商店に対する売掛金の残高を計算しなさい。ただし、5月3/日における売掛金元帳の長崎商店の残高は ¥164,000 (借方) であった。

取 引

6月 /日 宮崎商店から商品 ¥186,000 を仕入れ、代金のうち ¥40,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

〃 日 熊本商店に対する売掛金 ¥61,500 を現金で受け取った。

入金伝票	
売掛金(長崎商店)	83,100
前 受 金	50,000
受取手数料	4,000
() ()	

出金伝票	
買掛金(鹿児島商店)	38,000
広 告 料	24,600
普 通 預 金	70,000
() ()	

振替伝票 (借方)		振替伝票 (貸方)	
売掛金(長崎商店)	247,000	売 上	247,000
水道光熱費	38,700	普 通 預 金	38,700
仕 入	142,000	買掛金(鹿児島商店)	142,000
普 通 預 金	46,500	売掛金(大分商店)	46,500
買掛金(宮崎商店)	68,000	電子記録債務	68,000
電子記録債権	54,000	売掛金(長崎商店)	54,000
売掛金(大分商店)	205,000	売 上	205,000
() ()		() ()	

4

広島商店の下記の取引について、

- (1) 総勘定元帳に記入しなさい。
- (2) 補助簿である仕入帳、買掛金元帳、商品有高帳（A品のみ）に記入しなさい。
ただし、
 - i 総勘定元帳は、日付と金額のみを記入すればよい。
 - ii 商品有高帳は、先入先出法により記帳している。
 - iii 仕入帳、買掛金元帳、商品有高帳は月末に締め切るものとする。
 - iv 消費税については考えないものとする。

取 引

6月 4日 岡山商店に対する買掛金 ¥56,000 について、当店の当座預金口座から支払った。

10日 岡山商店から次の納品書のとおり商品を仕入れ、代金は掛けとした。

〒730-0847 広島県広島市中区 舟入南6丁目7-11 広島商店 御中	納 品 書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">納品No</td> <td>202606001</td> </tr> <tr> <td>納品日</td> <td>令和〇年6月10日</td> </tr> </table> 〒703-8281 岡山県岡山市中区 東山3丁目1-6 TEL 086-272-XXXX 岡山商店	納品No	202606001	納品日	令和〇年6月10日												
納品No	202606001																	
納品日	令和〇年6月10日																	
下記のとおり納品いたします。																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">合計金額</td> <td>¥115,500</td> </tr> </table>	合計金額	¥115,500																
合計金額	¥115,500																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">品名</th> <th style="width: 20%;">数量</th> <th style="width: 20%;">単価</th> <th style="width: 40%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 品</td> <td>200個</td> <td>¥165</td> <td>¥33,000</td> </tr> <tr> <td>B 品</td> <td>300個</td> <td>¥275</td> <td>¥82,500</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">合計</td> <td>¥115,500</td> </tr> </tbody> </table>			品名	数量	単価	金額	A 品	200個	¥165	¥33,000	B 品	300個	¥275	¥82,500	合計			¥115,500
品名	数量	単価	金額															
A 品	200個	¥165	¥33,000															
B 品	300個	¥275	¥82,500															
合計			¥115,500															

12日 島根商店に次の商品を売り渡し、代金は現金で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

A 品 400個 @ ¥320
 B 品 150〃 〃 〃 400

15日 山口商店から次の商品を仕入れ、代金はさきに支払っている内金 ¥30,000 を差し引き、残額は掛けとした。

A 品 300個 @ ¥175
 C 品 20〃 〃 〃 350

17日 山口商店から15日に仕入れた次の商品をすべて返品した。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

C 品 20個 @ ¥350

19日 香川商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

B 品 200個 @ ¥400

次ページに続く

22日 島根商店に対する売掛金のうち ¥86,400 について、現金で受け取った。

25日 山口商店に対する買掛金について、次の請求書を受け取っていたが、本日、当店の当座預金口座から支払った。

請 求 書

広島商店 御中

〒730-0847

広島県広島市中区舟入南 6 丁目 7-11

下記のとおりご請求申し上げます

ご請求金額合計

¥87,900

発行日 令和○年 6 月 20 日

請求番号 202606028

山口商店

〒747-0802

山口県防府市中央町3-1

TEL 0835-22-XXXX

MAIL yphchs@shouten.jp

振込先 下関銀行本店

当座口座123456

ヤマグチショウテン

日付	品名	数量	単価	金額
令和○年 5 月 13 日	B品	150 個	¥266	¥39,900
令和○年 5 月 21 日	A品	300 個	¥160	¥48,000
			合計	¥87,900

29日 香川商店に対する売掛金のうち ¥128,000 について、当店の当座預金口座に振り込まれた。

5

東京商店（個人企業 決算年／回 12月31日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項等は次のとおりであった。よって、

- (1) 貸借対照表を完成しなさい。
- (2) 損益計算書に記載する支払利息の金額を求めなさい。
ただし、売上と仕入以外の項目は、消費税については考えないものとする。

元帳勘定残高

現金	¥ 452,000	当座預金	¥ 1,564,000	売掛金	2,050,000
貸倒引当金	16,000	有価証券	1,120,000	繰越商品	510,000
仮払消費税	230,000	備品	900,000	備品減価償却累計額	360,000
土地	6,000,000	買掛金	1,630,000	借入金	1,200,000
仮受消費税	670,000	資本金	7,470,000	売上	6,700,000
受取地代	84,500	有価証券売却益	63,000	仕入	2,300,000
給料	1,580,000	支払家賃	988,000	旅費	236,400
保険料	180,000	雑費	56,100	支払利息	27,000

付記事項

- ① 仕入先神奈川商店に対する買掛金 ¥300,000 を当座預金口座から支払っていたが、記帳していなかった。

決算整理事項等

- a. 期末商品棚卸高 ¥415,000
- b. 貸倒見積高 売掛金の期末残高に対し、1%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定率法による。ただし、毎期の償却率は40%とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
西南商事株式会社 400株 時価 1株 ¥2,700
- e. 家賃前払高 ¥76,000
- f. 地代前受高 ¥6,500
- g. 利息未払高 借入金に対する利息は、年利率3%で、3月末と9月末に経過した6か月分を支払う契約となっており、未払高を計上する。
- h. 消費税の納付税額 納付する消費税額を計上する。

6

次の各問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金 当 座 預 金 資 本 金 利 益 準 備 金
繰 越 利 益 剰 余 金 創 立 費 開 業 費 株 式 交 付 費
損 益

- a. 愛知商事株式会社は、設立にさいし、株式4,000株を1株につき ¥700 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、設立に要した諸費用 ¥510,000 は現金で支払った。
- b. 南東株式会社は、第3期決算の結果、当期純損失 ¥1,200,000 を計上した。

(2) 静岡物産株式会社（決算年／回 3月3／日）の次の未払法人税等勘定と資料によって、（ ① ）に入る金額を答えなさい。

未 払 法 人 税 等			
2025/ 5/25	普 通 預 金	()	2025/ 4/ 1 前 期 繰 越 460,000
2026/ 3/31	次 期 繰 越	(①)	2026/ 3/31 () ()
		()	()

資 料

- i 5月末までに、法人税・住民税及び事業税の確定申告をおこなっている。
- ii //月末までに、前期の納付税額の2分の1を中間申告している。
- iii 税金の納付は、普通預金口座からおこなっている。
- iv 法人税・住民税及び事業税の計上額は、次のとおりである。
- 前期 ¥900,000
- 当期 ¥980,000

第102回 簿記実務検定 2級 商業簿記〔解答用紙〕

1		借	方	貸	方
	a				
	b				
c					

2

(1)	a	ア	b	イ
				㊦

(2)	a		b	
-----	---	--	---	--

(3)	①	㊦	②	㊦
-----	---	---	---	---

(4)	ア	㊦	イ	㊦
	ウ	㊦	エ	㊦

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点
6 得点	総得点	試験場校		受験番号

3

(1)

仕 訳 集 計 表

令和8年6月/日

借 方	元丁	勘定科目	元丁	貸 方
		現 金		
		普 通 預 金		
		電子記録債権		
		売 掛 金		
		電子記録債務		
		買 掛 金		
		前 受 金		
		売 上		
		受取手数料		
		仕 入		
		広 告 料		
		水道光熱費		

(2)

 $\mathbb{F}$

4

(1) (注意) 各勘定の記録は5月末までの合計額と、6月3日までの取引を示している。

総勘定元帳

現金	
426,000	218,000
前払金	5
340,000	140,000
仕入	13
519,000	4,100
6/3 14,000	

当座預金	
713,000	395,000
買掛金	7
225,400	369,300
	6/3 14,000

売掛金	
775,000	572,600
売上	11
7,800	960,000

(2) (注意) 仕入帳, 買掛金元帳, 商品有高帳は締め切ること。

[illegible]

帳元金掛買

[illegible]

商 品 有 高 帳

(先入先出法)

[illegible]

3 得点		4 得点	
---------	--	---------	--

5

(1)

東京商店		貸借対照表		(単位：円)
		令和○年/2月3/日		
資	産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金			買 掛 金	
当 座 預 金			借 入 金	
売 掛 金 ()			()	
貸 倒 引 当 金 ()			()	
有 価 証 券			未 払 消 費 税	
商 品			資 本 金	
()			()	
備 品 ()				
減価償却累計額 ()				
土 地				

(2)



6

(1)

	借 方	貸 方
a		
b		

(2)



5 得点		6 得点	
---------	--	---------	--